

令和6年度 第1学期始業式 式辞(R6.4.4)

校長 杉本 和博

昨年の始業式には桜も終わりを迎えていましたが、今年は桜の季節がいよいよこれからといったところです。新3年生・新2年生の皆さん、進学おめでとうございます。いよいよ今日から令和6年度が始まります。大きな節目ですね。3学期の修了式では、竹は節があるから強くしなやかなのだと伝えましたが、皆さんも今日の節目を経て、さらに強くしなやかになってくださいね。

ところで、新3年生の皆さんは1年前の始業式で、新2年生の皆さんは入学式で、私から伝えたことを覚えていますか？ 始業式ではWBCで活躍した大谷さんの話を例に、大きな目標でも小さな目標に分解していけば達成に近づけること。入学式では、挨拶をすることと小6で見せた力を遠慮なく発揮してほしいという2つのことを伝えました。この1年間で大谷さんは、「世界最高額の契約をしたスポーツ選手」という名誉を手に入れた一方、心から信頼していた人に嘘をつかれるという辛い経験もしてきました。そこまでの大きな出来事はそうないでしょうが、皆さんのこの1年間はどうか。

さてここでそれぞれの学年に、これからの1年間で望むことを伝えたいと思います。新3年生には、これからの1年間で「自分の進路を切り拓け！」と伝えます。これは単に、中学卒業後の進路を確保するだけの軽い意味ではありません。自分の事、自分を取り巻く環境、進む先に待つ進路の事等々、十分に調

べ考えた上で、自分の意志と力でその進路を勝ち取るといった意味です。「○○さんが良いていったから」という他人任せの進路選択はしてほしくありません。この1年間で十分に調べ、その進路に見合った学力を付けていきましょう。自分で選んだ進路の価値は高いに違いありません。

新2年生には、これからの1年で学校を背負えるだけの学年に育ててほしいと思います。自分の事ができて当たり前、その上で「リーダーシップ」や「思いやり」「先を見越した行動」等々が求められると思います。小学生のリーダーシップより何段階も高い力が求められますが、この学年がこれまでの1年間で成長してきたことを考えると、私には達成ができると思えます。頑張ってください。

最後になりましたが、新しいクラスになり人間関係で悩むこともあるかもしれません。そんな時、少しだけ気持ちが楽になる方法を教えます。それは「自分で変えることができるのは自分だけ」ということです。そして「未来は変えられるが過去は変えられない」という事実です。自分の思いで人を変えさせようとしたり、過去をどんなに悔やんだりしても、心が辛くなるだけです。「人と過去は変えられない」と思っていると、少し心が穏やかに過ごせますよ。試してみてください。

4日後の入学式からは全校生徒が揃います。3年生のリーダーシップの下、成長の多い1年間にしていきましょう。